

平成20年度 府立北桑田高等学校 学校経営計画実施報告（スクールマネジメントプランの自己評価）

| | |
|--------|--|
| 短期経営目標 | <p>1 学力充実向上</p> <p>(1) 研究授業・公開授業の実施等による教科指導力の向上</p> <p>(2) シラバスに基づく計画的学習指導による自主的・意欲的学習習慣の確立</p> <p>(3) 個々の能力を伸ばす学習指導の工夫</p> <p>2 個々の生徒の潜在能力を引き出す3年間を見通した開発的な進路指導計画</p> <p>(1) 土曜補習の実施、活用</p> <p>(2) 進路補習の計画的な実施</p> <p>(3) 日常の学習成績と模擬テストのデータを分析・活用した進路指導の強化</p> <p>3 地域から信頼され、地域の誇りと期待を担う生徒の育成</p> <p>(1) 府内広域からの生徒募集を図り、目的意識の高い生徒の確保</p> <p>(2) 全教職員が共通理解・認識をもった学校運営の実施</p> <p>(3) 教職員の情報共有と共通理解の上立った生徒とのコミュニケーションの強化</p> <p>(4) 特色ある教育課程や部活動の推進</p> <p>(5) 積極的な広報活動による中学生及び地域への本校教育活動の周知徹底</p> <p>(6) 小・中・高の連携・接続の強化</p> <p>4 教職員の健康管理</p> <p>(1) 勤務時間を適正にし、教職員と家族の心身の健康を保持する。</p> |
|--------|--|

A: 達成できた。 B: おおむね達成できた。 C: あまり達成できなかった。 D: 達成できなかった。

| 領域 | 目標 | 評価 |
|-------------------|--|----|
| 教育課程 | 特色ある教育課程を編成する。 | B |
| 教科指導 | シラバスに基づく計画的な学習指導を発展させ、生徒の学習習慣の確立に資する。 | C |
| 広報活動 校種間連携 | 選ばれる学校を目指し、本校の特色を積極的にアピールする。 | B |
| 進路指導 | 生徒の目的意識を高め、明確にさせていくための計画的・系統的な指導を確立する。 主体的な進路選択能力の養成と学力の向上を図る。 | B |
| 生活指導 | 基本的な生活習慣を身に付けさせる。 | B |
| 部活動 | 部活動加入の奨励と活性化を図る。 | B |
| 生徒会活動 | 学園祭を中心とした生徒会行事の発展、充実を図る。 全校生徒を巻き込んだ校内ボランティア活動を実施する。 | B |
| 安全指導 | 4ない運動+1の堅守と自転車通学の安全指導強化を図る。 危険を回避することを主眼とした不審者対応策の指導を充実する。 校内巡視等の実施による危険の早期発見と対応できる体制の構築を図る。 | B |
| 健康安全管理 | 保健管理、健康教育を充実し、生涯にわたる健康づくりを目指す。 | B |
| 学習環境整備・清掃 | 清掃美化に努め、良好な学習環境を確立する。 | C |
| 農場管理 | 農場収入と圃場の計画的な運営を目指す。 | A |
| 専門学科教育 | 進路指導部との連携と、誇りの持てる専門教科指導を推進する。 | A |
| 寮運営 | 愛情と規律のある寮運営を図る。 | A |
| 施設設備 | 安全で快適な施設設備の充実を図る。 | A |
| 情報管理 | 個人情報保護の観点から、文書やデジタル情報の管理を適切に行う。 | C |
| 人権教育 | 生徒の進路や生き方と関連させ、人権意識の高揚を図り、人権問題に対する正しい理解、認識の基礎を養う。 | B |
| PTA等渉外関係 | 本校の将来展望を見据え、家庭、地域、各関連機関と連携し、適正なPTA運営を図る。 | A |
| 広報活動 | 広報活動の充実を図る。 | B |
| 図書館管理等 | 図書館利用の推進を図る。 | C |
| 次年度に向けた 改善の方向性 | <p>・小規模校の利点を生かしながら教育効果の向上を目指すことが必要であり、組織運営面においては、教師個々人の力量向上と体系的・継続的指導計画の確立を目指す。</p> <p>・地域から信頼され、地域の誇りと期待を担う生徒の育成のために、教育活動内容や成果を家庭・地域に周知徹底する広報活動の工夫を図る。</p> <p>・小・中・高連携を一層深化させ、教員・保護者・生徒の交流化を図り、中学生の本校への理解を深め、意欲ある生徒確保を図る。</p> | |